

---

# プルートの嘆き

宮森琥珀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

プルートの嘆き

### 【Zコード】

N8771A

### 【作者名】

富森琥珀

### 【あらすじ】

冥王星が惑星ではなくなる、というニュースに衝撃を覚え勢いだけで書き上げた超短編です。水金地火木土天海冥、の理が消えてしまつのは余りにも寂しいですよね。

冥王星が惑星ではなくなるらしい。

このニュースを耳にして、私はひどく心配になつた。  
これから先、彼の星は生きていけるのだろうか。

宇宙最果ての惑星だった、あの星は。

例えば、お前は人間としては小さすぎるから人間だと認められないと私が言われたらどうするだろ？

生き物としては十分に生きていけるけれども、とある瞬間から人間であることを捨てねばならないとするのなら。

また、もしもこうだったら、どうするだろ？

私の家が余りにも日本の果てにあるから、日本人として認められないなんて言われたら。

それまで日本人として生きてきた日々を否定されて、私はどこへ行けばいいのだろう。

そして、今まさに。そんな状況に追いやられている冥王星は、どうするのだろう。

惑星としては小さいけれども、星としては多少大きい厄介者のレツテルを貼られて。

あんなに端っこにいるのに、太陽の家に入ることを許されないまま、どこか辿り着ける場所はあるのだろうか。

大小様々な星に囲まれて、酷いことを言われたりしないだろうか。心ない虐めを受けたりしないのだろうか。

地球で呑氣に朝食をとる私が、呆然とそんなことを考えている間

に、ニュースは移り変わり、張り付いた笑顔のキャスターが天気を伝えていた。

窓の外は、テレビの中で彼女が言つよつて、どんよりとした灰色に満ちている。

口に含んだパンが上手く飲み込めず、クツと呻き、私は再びカーテンの隙間から覗く世界を見やつた。

雨を孕んで巡る大気の遙か向こうにある冥王星に思いを馳せる。太陽の家族に戻れるといいのにね。

そつと祈り、私は立ち上がった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8771a/>

---

プルートの嘆き

2010年12月13日15時47分発行